

三里塚通信

行動隊

Vol. 004

2014年8月3日発行

全国の仲間のみなさん、とりわけ夏休みを迎えた学生のみなさんに三里塚の夏の援農・現地調査への決起を訴えます！

現地は今、夏真っ盛りです。さんさんと照りつける日差しの下、キュウリ、ナス、ピーマン、とうもろこしなどの色とりどりの夏野菜が畑を賑わせています。

援農・現地調査は三里塚闘争を肌で感じるために最も有効な方法だと思います。三里塚闘争では、日々の生活が闘争の現場です。援農に参加することで、三里塚に「生きる」ということがどういうことなのか、そして当たり前の生活を奪う「国策」の犯罪性が実感できます。

そして現地調査では、現地行動隊の案内で様々な戦跡や畑、成田空港の周辺地域を回ります。現地調査を通して、成田空港を取り巻く状況、空港の破綻しきった実態、そしてそれを48年間強制し続けている三里塚闘争の大きさが明らかになってくることと思います。

これまで全国・全世界から多くの青年・学生が現地を訪れ、原則を曲げない絶対反対で闘う三里塚闘争を学んできました。そしてそれを職場やキャンパスで実践することを通して、闘う労働組合の復権、学生自治会の建設、国際連帯の発展が勝ち取られてきました。

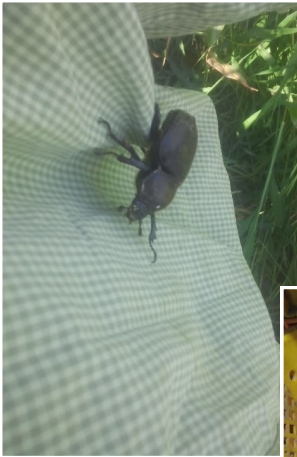
すべての仲間は現地を訪れ、援農・現地調査に決起しよう！



全学連三里塚現地行動隊 今井治郎

三里塚夏の援農・現地調査

援農を通じて三里塚の現場を実感しよう！
現地を回って48年間の闘いを知ろう！



写真：収穫されたとうもろこし（右）と畑で見つけたカブトムシ（上）



☆日程：8月下旬

☆行程

1日目：午前 学習会

午後 現地調査

2日目：援農

全学連三里塚現地行動隊

ちばアクション 夏の保養プロジェクトに参加!



現地行動隊は、「もう黙ってられない! 原発なくせ! ちばアクション」が主催する「保養プロジェクト in 勝浦」(7月19日~23日)に参加しました。福島に住む家族を千葉県に招き、少しでも日々の不安やストレスを和らげてもらうこと、そして交流会などを通して福島の現状を共有するための企画として毎年夏と冬に行われ、今回が5回目の開催です。

僕は20、21日にスタッフとして参加しました。福島からも7家族、全体で50人近くが参加する中、流しそうめん体験(写真)や海水浴、スイカ割りにバーベキュー、花火など盛りだくさんの内容で交流を深めました。

20の夜には「福島の今を話してください」と題した交流会が開かれ、各家族から生活の現状や心境が率直に話されました。子供の通学路にホットスポットがあり除染も追いつかない状況、水を始めとする多くの

食べ物の産地に気を遣って生活するストレス、政府が推し進める「安心・安全キャンペーン」によって地域や親戚の間ですらいさかいが起きるような分断の中で、保養に参加することすら高いハードルとなっていることが大きな衝撃でした。

遊びたい盛りの子供たちが海ではしゃぐ姿に「あの子がこんな顔をするんだ」と話す母親の姿に海や川で泳ぐ、山で遊ぶ、そういう当然のものが奪われている現状に大きな怒りを覚えます。すべての原発を廃炉にするまでやむことのない怒りです。そして僕たちが「子供たちの未来を守ろう」と言ったときに、この子供たちを守るんだということが具体的に見えてくる企画でした。

次回は来年1月に開催予定です。誌面でもお知らせしますので、積極的に参加しましょう。

☆三里塚の野菜を食べよう 援農・現地調査に決起しよう!

三里塚では無農薬有機栽培で年間50種類以上の野菜を作っており、これを契約した全国の消費者に配送(直接配送、宅急便)することで日々の農業を続けています。闘いの野菜、三里塚の野菜を食べよう! 味と安全性は保証します☆

また、三里塚では援農・現地調査(見学や農作業の手伝い、戦跡巡り、反対同盟との交流)も随時受け付けています。現地の空気を肌で感じ、三里塚闘争を学ぶことを通して、ともに三里塚の闘いに決起しよう!

※配達する野菜の一例(8月上旬、1200円+送料)

じゃがいも 1kg、玉ねぎ 1kg、とうもろこし 4本、キュウリ 4本、ナス 3本、ピーマン 6個、オクラ 23本、万願寺とうがらし 6本、ミニトマト 400g、モロヘイヤ 150g

次回の農地裁判は10月8日 3万人署名を集めよう!

連絡先

全学連三里塚現地行動隊 今井治郎

〒287-0105

千葉県香取市沢2141-2

Tel: 090-6255-4319

Mail: jiro-imai@ezweb.ne.jp